

ヒメボタルの幼虫の生息状況を調査しました！

<開催概要>

- 日 時：令和6年12月1日（日）13：30～15：00
- 場 所：猪名川河川敷付近（兵庫県尼崎市）
- 参加者：一般46名（うち小学生以下25名）
- 主 催：神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会（事務局：猪名川河川事務所）
- 協 力：池田・人と自然の会、猪名川ヒメボタルの会、
猪名川流域ひめぼたるネットワーク、
自然と文化の森協会、
大阪府立刀根山高校生物エコ部（敬称略、順不同）



- 神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会では、地域みなさまに身近な川「猪名川」に触れて親しんでいただくことを目的として、地域住民や協力団体のみなさんと一緒に、ヒメボタルの幼虫を捕まえて調査・観察するイベントを平成29年度から実施しています。
- 今年度は180個（1側線30個×6側線）のトラップをしかけた結果、各側線11～26匹の幼虫が見つかり、合計110匹のヒメボタルの幼虫が見つかりました！（※昨年は2匹）
- 多くのヒメボタル幼虫が見つかった理由としては、設置期間中にまとまった雨が1回降り、その後の気温がやや高い期間が続いたため、ヒメボタルの幼虫が活発に動ける環境だったと考えられます。
- また、イベント中には大阪府立刀根山高校生物エコ部の学生さんに作っていただいた、ホタルの違いや生き方がわかる紙芝居も実施し、参加したお子さまとホタルの生態について学びました。



<イベントのようす>



参加者の声

幼虫がいっぱい
見つかったよかった

小さい子どもでも
参加しやすかった

ホタルが生息する場所が
近くにあると知れた